

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		財産管理事務費 [東大和市財産価格審議会事務]								
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	3		
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名	総務管財		課		用地管財		係	課長名	宮田 智雄	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書 (ページ)	122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	公共用地等の取得、処分、交換、賃貸借の対価 →				議案件数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	適正に評価する。 →				申可決議案件数/議案件数×100					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①議案書の作成 ②審議会開催 ③議案の付議 ④審議結果を市長に報告 →				審議会開催回数					
	対象指標		①の数値	件	過去2年間の実績 平成31年度実績	令和2年度実績	当該年度 令和3年度実績	成果目標 令和4年度目標		
	成果指標		②の数値	%	3	2	3	/		
目標		②の目標値	%	100	100	100	100			
		目標値設定の考え方 公有財産の手続きであり、遺漏のないよう事務処理を確実にを行うため100%とした。								
活動指標		③の数値	回	3	2	2	/			
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	0	0	0				
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0				
		(うち受益者負担)	円	0	0	0				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1				
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0				
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000				
職員人件費(再任用)		円	0	0	0					
事業費+人件費		円	83,100	838,000	825,000					
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和51年度							
	(2) 環境の変化									
	特になし。									

